

第45回

三島町生活工芸品展受賞作品

賞	作品名	材	質	作者名	地区
大賞	風呂敷	古木	綿	渡部和	大石田
伝統技術者賞	ブドウ皮バッグ	山ブドウ		五十嵐登美雄	早戸
優秀賞	くるみのサイドチェスト	クルミ		志田明恵	宮下
奨励賞	マタタビザル	マタタビ		三井康二	宮下
三島町議会議長賞	パニティポーチ	ヒロロ・モワダ・アカソ		市東玲美奈	宮下
日本赤十字社福島県支部長賞	レディースバッグ	クルミ		五十嵐富一	大谷
福島県老人クラブ連合会長賞	ショルダー大	ヒロロ・モワダ・アカソ		角田キイ子	浅岐
三島町文化協会賞	手提げバッグ	ヒロロ・モワダ		角田ツヤ子	浅岐
三島町商工会長賞	米研ぎ笊	マタタビ		高島みのり	宮下
三島町観光協会賞	手さげバッグ	ヒロロ・モワダ・アカソ		渡部ユキ子	荒屋敷
三島町社会福祉協議会長賞	メカイザル	マタタビ		長谷川一雄	桑原
三島町老人クラブ連合会長賞	雪踏み俵	藁		舟木トメ子	間方
福島民報社賞	手さげバッグ	ヒロロ・モワダ・アカソ		渡部マサ	西方
福島民友新聞社賞	米とぎザル	マタタビ		栗田政行	川井
道の駅尾瀬街道みしま宿賞	抱えバッグ	山ブドウ		長谷川洋子	川井
三島町生活工芸運動友の会会長賞	リビングチェア	楓		寺川洋	桑原
宮崎清賞	手提げ	山ブドウ		永澤光枝	浅岐
	山ぶどうビジネスバッグ	山ブドウ		三澤龍太	西方
	ゴミ箱	マタタビ		諏江武雄	松原
	ショルダーバッグ	ヒロロ・モワダ・アカソ		角田米子	浅岐
	サイドテーブル	栃		寺川洋	桑原
	フラワースタンド	桜		寺川洋	桑原
	手さげバッグ	ヒロロ・モワダ・アカソ		小松トシ子	西方
テーブルセンター	ヒロロ		舟木トメ子	間方	

奥会津の手しごとが集結
生活工芸品展・全国編み組工芸品展開催

3月14日と15日、三島町において、毎年恒例の二つの工芸品展が開催されました。三島町生活工芸館では、三島町主催の「三島町生活工芸品展」、三島町交流センター山びこでは、奥会津三島編組品振興協議会主催の「全国編み組工芸品展」が同時開催されました。今回の取り組みでは、SNSを活用した情報発信が大きな効果を上げ、2日間で、約1000人のお客様が来場され、初日は開場を心待ちにする多くの来場者が交流センター山びこの外にまで列を作りました。



▲山びこでの展示販売の様子【全国展】



▲青木基重さん、渡部ユキ子さんによる製作実演【町展】

三島町生活工芸品展

第45回三島町生活工芸品展では、46名の町民の皆さまより307点の編み組細工や木工品などの出品がありました。2月26日に行われた審査会の結果、大賞には渡部和さん（大石田）の「風呂敷」が選ばれ、その他23作品が各賞に選ばれました。

3月13日には、生活工芸館において表彰式及び町民限定の内覧会が行われ、多くの町民が来場しました。表彰式には、町の名誉町民であり生活工芸アドバイザーの宮崎清千葉大学名誉教授が出席され、審査委員長として次のような講評をいただきました。



▲【大賞】
渡部和さんの「風呂敷」

審査委員長講評【名誉町民・千葉大学名誉教授 宮崎 清氏】

今回の応募作品には、ビジネスバッグなど新たな発想による独創的な作品が多く見られ、大変喜ばしく感じました。一方で応募数は年々減少しており、寂しさも感じています。「生活工芸」とは何かを改めて見つめ直し、自然素材の持つ力強さや美しさを大切にしていきたいと思います。

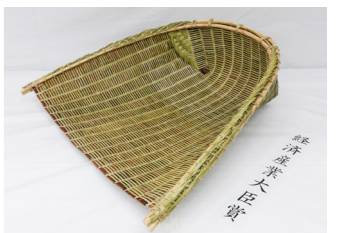


全国編み組工芸品展

第25回全国編み組工芸品展が同日開催され、全国103名の皆さまから887点の作品が出品されました。

審査の結果、経済産業大臣賞には和賀恵治さん（宮城県）の箕大（山桜）が選ばれ、ほか21点の作品が各賞に選ばれました。なお、三島町からは、五十嵐喜良さん（名入）、三井康二さん（宮下）、青木基重さん（西方）の3名が受賞しました。

全国各地の魅力あふれる作品と、それを観に全国各地から多くの来場者があったことで、たくさんの方に三島町の編み組文化を発信する機会となりました。



▲【経済産業大臣賞】
和賀恵治さんの箕大（山桜）

第25回

全国編み組工芸品展受賞作品

賞	作品名	材	質	作者名	県名
経済産業大臣賞	箕大（山桜）	鈴竹・山桜・藤藁・ガマズミ		和賀恵治	宮城県
林野庁長官賞	楢円鏡（大）乱編	あけびつる		田中潔	岩手県
東北経済産業局長賞	手提げかご	あけびつる		伊藤未希	秋田県
福島県知事賞	背負い籠	サクラ・マンサクの木・山ブドウ		上村健三	新潟県
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞	四ツ目大笊	マタタビ		菅家哲夫	福島県
三島町長賞	手さげ市松巾着	山ブドウ		五十嵐喜良	福島県
三島町議会議長賞	手提げカゴ	山ブドウ		三井康二	福島県
福島民報社賞	網代編み籠バッグ（小）	山ブドウ		佐藤初美	福島県
福島民友新聞社賞	手さげバッグ	ヒロロ・アカソ		大島やを子	福島県
福島テレビ賞	三本たて網代編み手提げ籠	山ブドウ		三善陽子	新潟県
福島中央テレビ賞	またたび四つ目大ザル	マタタビ		市川里美	福島県
福島放送賞	アダン葉帽子1.0	アダン葉		比嘉聡子	沖縄県
テレビユー福島賞	ショルダーバッグ	ヒロロ・アカソ		阿部節子	福島県
奥会津三島編組品振興協議会長賞	座敷箒	ホウキモロコシ		佐京三義	青森県
奨励賞	雨みのヒロロ	ヒロロ		青木基重	福島県
	買いものカゴ	藁		浅子衣左	山梨県
	米研ぎザル5合	マタタビ		栗城美梅子	福島県
	2本手かご	雄国根曲がり竹		三星智善	福島県
	つぼかご	イタヤカエデ・リョウブ		太々野功	滋賀県
	手籠	孟宗竹		葛綿慎	新潟県
	両手籠	藁		鈴木由加利	長野県
丸カゴバッグ	月桃		戸田章子	沖縄県	

二瓶譲さんに瑞宝双光章

3月27日、昭和32年の三島村奉職から平成9年の三島町収入役退任まで、約40年にわたり町の行政に貢献された功績に対し、二瓶譲氏に瑞宝双光章が授与されました。

勲章および勲記の授与式は町長室において行われ、福島県会津地方振興局の鈴木慎也次長より授与されました。

二瓶氏は、町職員としての功績に加え、長年にわたり三島町社会福祉協議会会長などを務め、地域福祉の増進に貢献されました。また、社会福祉法人みしまの常務理事および特別養護老人ホーム桐寿苑の初代施設長として、高齢化が進む地域における介護・福祉の向上にも大きく寄与されました。これらの功績が認められ、このたびの受賞となりました。

町長は「長年町の行政に携わり、ご尽力いただくとともに、退職後も町のためにご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今後ご指導を賜りたい」と祝辞を述べました。これに対し二瓶氏は、「今後も何らかの形で町に尽くしていきたい」と挨拶されました。



▲左から、矢澤源成町長、二瓶譲氏、鈴木慎也会津地方振興局次長

三島中学校と台湾の学校がオンラインで交流

3月18日、三島中学校において、たいわんうんりんけんしやうこせいたい台湾雲林県立樟湖生態国民中小学校（小中一貫校）日本語部の生徒とのオンライン交流会が行われました。

本交流は、国立台湾工藝研究発展センター及び台湾雲林科技大学との友好協定再締結以降、継続してきた台湾との交流事業を背景に実現したものです。

当日は、三島中学校から1・2年生6名、台湾雲林県立樟湖生態国民中小学校は7・8年生の生徒6名が参加しました。交流では、自己紹介やそれぞれの学校・地域について英語で紹介を行いました。

開始当初は緊張した様子も見られましたが、次第に打ち解け、マンガや食べ物のお話では笑顔あふれる交流となりました。

今回の取り組みは、これまでの物づくりを中心とした町との交流の積み重ねにより培われた関係性が、新たな形で広がったものです。今後も交流の継続が予定されており、両校の親交がさらに深まることが期待されます。



—学び舎にさようなら— 満了式・卒業式

あたたかな春の訪れとともに、旅立ちの季節を迎えました。三島保育所、小学校、中学校では、それぞれ満了式・卒業式が行われ、子どもたちが学び舎を巣立ち、新たな一歩を踏み出しました。

満了・卒業を迎えた皆さん、誠におめでとうございます。これまで友だちや先生、地域の方々と過ごしてきた日々の中で育まれた経験や絆は、これからの人生において大きな力となることと思います。

保育所の子どもたちは、小学校という新しい環境へ。小学校の卒業生は、中学校でのさらなる成長へ。そして中学校の卒業生は、それぞれの高等学校へと進み、より広い世界へ羽ばたいていきます。

それぞれのステージでの挑戦の先には、たくさんの出会いと学びが待っています。満了・卒業された皆さんが、新たな場所でも自分らしく歩み続けられることを心より願っています。



三島中学校卒業式（3月13日）

令和7年度 三島中学校卒業生（4名）

あさみ 浅見 凰花（名入）	にへい 二瓶 伸悟（西方）
いしおか 石岡 健志郎（大登）	ぬのかわ 布川 芽依（宮下）



三島小学校卒業式（3月23日）

令和7年度 三島小学校卒業生（9名）

あおき 青木 大知（宮下）	すずき 鈴木 秀生（宮下）
いがらし 五十嵐 義翔（川井）	すずき 鈴木 響希（宮下）
おおたけ 大竹 真太郎（滝谷）	はた 秦 直央（大石田）
かねこ 金子 隼（中平）	わかばやし 若林 晴琉（中平）
さくま 佐久間 結人（宮下）	



三島保育所満了式（3月27日）

令和7年度 満了児（4名）

いたばし 板橋 采生（宮下）	すずき 鈴木 麻央（荒屋敷）
かわい 川合 史周（宮下）	めぐろ 目黒 ともはる（中平）



効率的な行政サービスを目指して今後も財政運営に努めます

町の令和8年度の一般会計と4つの特別会計、2つの公営企業会計の予算が議会3月定例会で議決されました。

令和8年度予算は、令和6年度決算額及び令和7年度決算見込額を分析し、事業実施に係る必要予算をこれまで以上に精査した上で計上しました。

物件費を中心に少額な予算も例外なく見直した結果、昨年度よりも8千万円を削減しました。安全安心な行政サービスを維持するため、今後も、健全な財政運営に努めます。

歳入

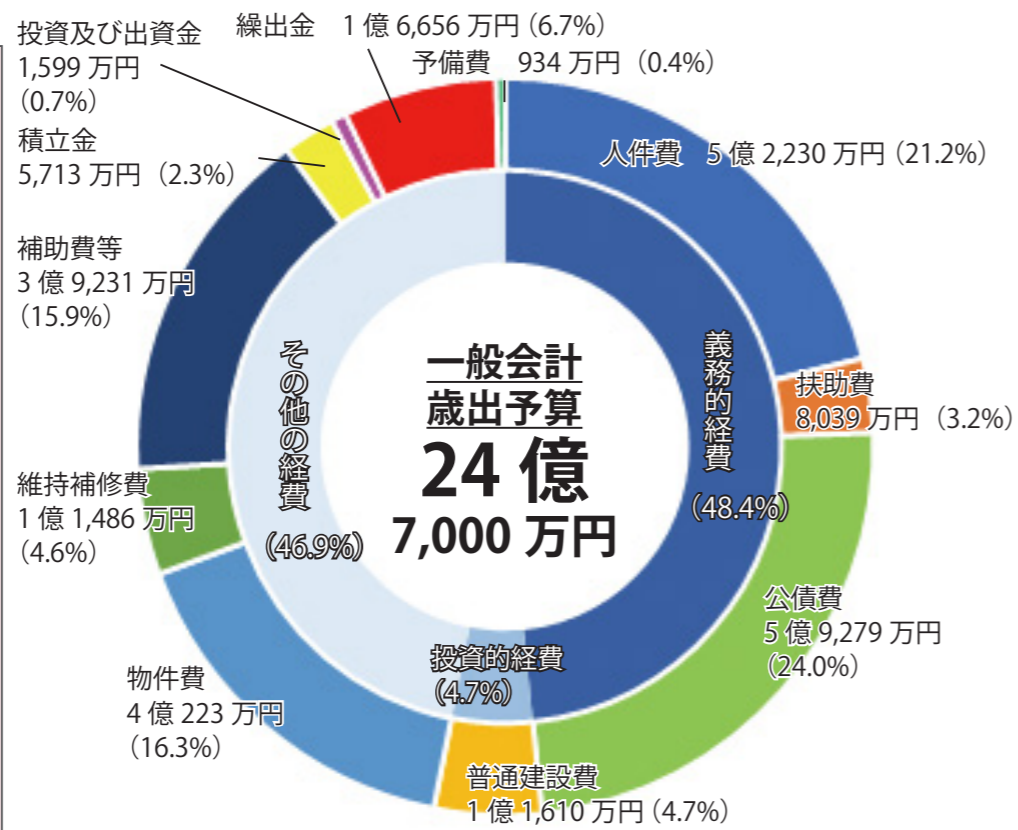
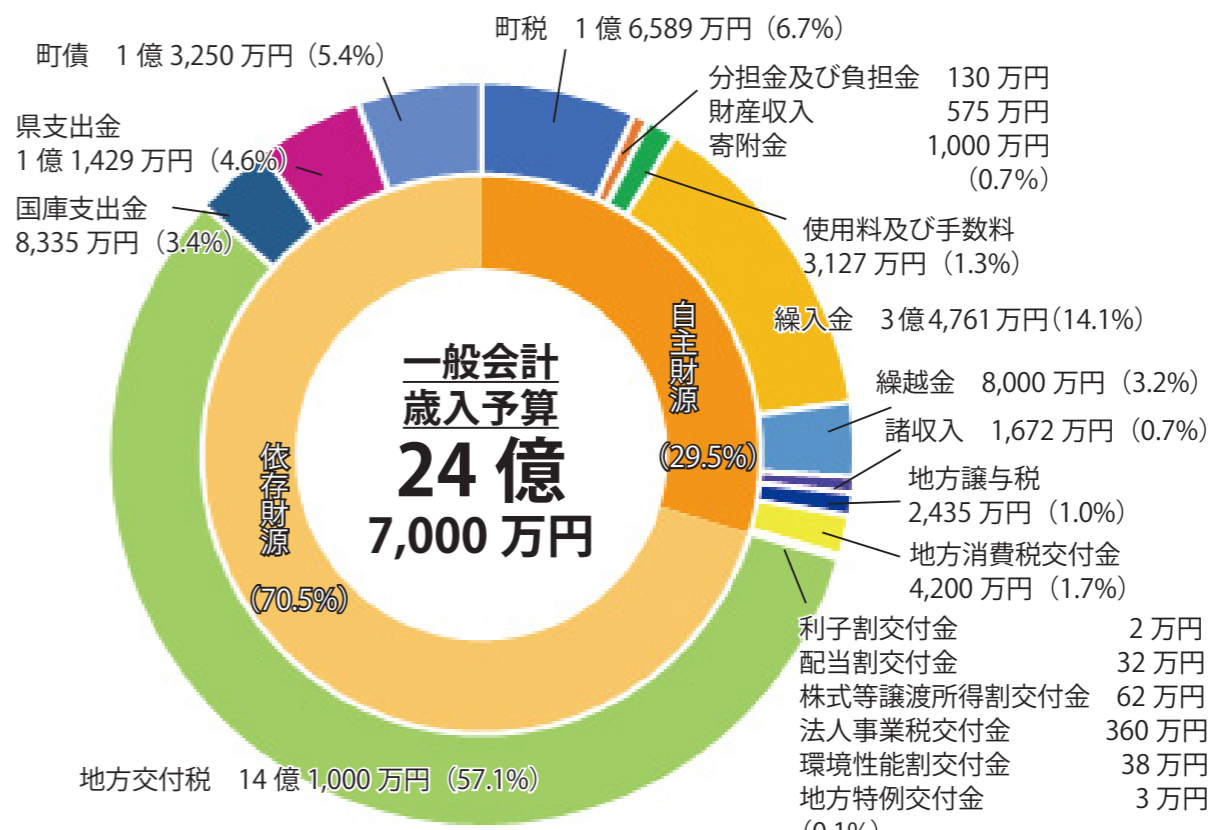
地方交付税は14億1千万円を計上しており、これは歳入の57・1%を占めています。

国庫支出金は昨年度と比較して8638万円減少しています。

補助事業の完了により、これは、(自治体情報システムの標準化が終了したことに伴う、デジタル基盤改革支援補助金の減と、社会資本整備総合交付金)調整減となったものです。令和7年度は財政町政基金を2億6139万円取り崩しましたが、令和8年度は将来の財政出動に備えるために、財政調整基金の取り崩しを予定していません。また、繰上償還の財源として減債基金1億6746万円を充てます。その他、町道寺沢四ツ田線新設改良のため公施設整備基金を8714万円充当します。基金全体では8569万円の減(△19・8%)となりました。普通建設事業が減ったことにより、地方債の借入も減り、町債は1530万円の減(△10・4%)となりました。

町の財政状況(令和6年度決算)

令和6年度地方財政状況調査(決算統計)では、地方交付税が歳入の52・4%を占め、財政力指数は0・13であり、国の財政措置に大きく依存しています。令和5年度と比較して歳出総額は減少したものの、豪雪の影響を受けた除雪費、人事院勧告に伴う人件費、物価高騰によりほぼ全ての歳出が増加したことなどにより、経常収支比率が前年度より9・7ポイント増の109%となりました。これは、経常的な収入だけでは経常的な経費を賄えず、財政の硬直化が一層進んでいることを示しています。今後も、基金の取り崩しが必要な状況が続くと見込まれます。また、各種建設事業に伴う起債の増加により、実質公債費比率が急激に上昇しており、令和6年度は15・6%(単年度16・6%)となりました。これは県内で最も高い値であり、財政が圧迫した状態を示しています。令和8年度は繰上げ償還を実施することにより、実質公債費比率の抑制を図ります。また、普通建設事業を減らし、新たな起債の抑制に努めます。



歳出

近年、歳出は増加傾向にあり、不足した財源を補うために基金を取り崩すことで、事業を実施してきました。しかし、近年の急激な物価高騰や、県立宮下病院建設にかかる周辺整備、システム標準化への対応などにより歳出が上昇する一方で、歳入は比例して増加しないため、歳出超過傾向にあります。

令和8年度は、款項目ごとにあらかじめ予算の上限額を定め、その範囲内に収めるように予算を編成しました。また、経常にかかる経費を特に重点的に削減するよう努めました。

経常的な経費を見直した結果、温泉湧出量減少に伴う桐の里クラブの営業休止、交流センター山びこの冬季間休館(冬期間以外は月、火曜を休館)としました。

その他、物件費を中心に維持補修費、補助費等について、少額なものも例外なく見直した結果、標準準拠システム移行、振興計画後期基本計画策定業務の事業完了による減額などもあり、物件費では昨年度と比較して、1億4935万円の減となりました。その他、公営企業会計(簡易水道事業、下水道事業)に対する補助金の減、県総合情報通信ネットワーク更新工事機器設置負担金の減などにより、補助費等は879万円の減となりました。普通建設事業費には町道寺沢四ツ田線新設改良1億825万円を計上しています。これは令和7年度と比較すると5130万円の減(△30・7%)となっています。

主な投資的事業

町道寺沢四ツ田線新設改良	美坂高原トラクター購入
--------------	-------------

令和8年度 会計別予算額

会計種別	予算額	前年度からの増減	
一般会計	24億7,000万円	△8,000万円	
特別会計	国民健康保険	1億7,129万円	△1,096万円
	路線バス	3,760万円	110万円
	介護保険	4億2,538万円	113万円
	後期高齢者医療	4,626万円	572万円
公営企業会計	簡易水道事業	2億3,505万円	△5,731万円
	下水道事業	1億1,267万円	△772万円

用語の説明

- 一般会計と特別会計**
町の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は基本的な経費の会計、特別会計は特定の事業を行うために区分した会計です。
- 町税**
町民の皆さんに納めていただく税金です。町民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。
- 町債**
町の借金で、公共施設の建設など、一時的に多額の費用を必要とする場合の財源に充てられます。
- 地方交付税**
町の財政力に応じて、国から交付されるお金です。財政力の不均衡をなくし、一定のサービスができるよう、国税(所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税)として国に納められた税金のうち、一定割合の額を地方自治体に配分するものです。
- 国庫支出金・県支出金**
町が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金です。
- 人件費**
報酬や給与などです。
- 物件費**
委託料、旅費、消耗品費、燃料費などの消費的な経費です。
- 維持補修費**
道路や公共施設などを維持管理するための経費です。
- 扶助費**
高齢者、児童、心身障がい者などに支援する経費です。
- 補助費等**
町から他の団体などに対して、特定の目的で支払う補助金などです。
- 普通建設事業費**
道路や住宅、公共施設などの整備のための経費です。
- 公債費**
町の借金(町債)を返済するためのお金です。
- 積立金**
財政運営や特定の目的のために積み立てるお金です。
- 繰入金**
一般会計から特別会計に出しているお金です。

不法投棄は犯罪です!!

不法投棄とは

不法投棄とは、不要なものを適正に処分せず、山中などに捨てることです。不法の「法」とは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」のことであり、この法律の第16条には「何人も、みだりに廃棄物を捨ててはならない」と定められています。



不法投棄を行うと、5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金に処せられ、またはこれが併せて科されます。
(法人は3億円以下の罰金。未遂行為も対象となります。)

不法投棄で他人を危険な目に遭わせてしまう可能性

～野菜クズは野生動物を呼び寄せる危険性も～

最近、三島町内の数か所で道路わきに野菜が捨てられているのを確認しています。また、捨てられた野菜にはサルなどの野生動物が食べた跡がありました。これらの不法投棄は、サルやクマ、イノシシなどの個体数増加や人間への警戒心の低下につながるだけでなく、人間の食べ物の味を覚えた動物が住宅地に出没する原因にもなり、結果として人身被害の危険性が高まることになります。

身勝手な行為が他人を危険な目に遭わせてしまうかもしれません。不法投棄は絶対にやめましょう。



不法投棄パトロールを実施しています

不法投棄を防止するため、町では職員のほか、県から委託された不法投棄監視員が定期的に町内をパトロールしています。

なお、不法投棄を発見した場合は警察または町民課町民係までご連絡ください。

町民課 町民係 ☎ (48) 5555

「こども未来ミーティング」

2月27日、町民センター「ふれあいの間」にて、「こども未来ミーティング」(町教育委員会主催)が開催されました。

本ミーティングは、三島町のこれからの子育てや教育環境について、参加者同士で意見交換を行うこと、また、テーマに基づいた様々なご意見や考え方を広くお聴きし、今後の本町の教育の方向性を検討するための参考資料とすることを目的に開催したものです。

ミーティングは、山口教育長の主催者あいさつで開会し、ファシリテーターとして、奥会津子ども未来プロジェクト代表の五十嵐乃里枝さんをお迎えして実施されました。

参加者は4つのグループに分かれ、教育委員がグループリーダーを務めるなか、以下の4つのテーマについて活発な意見交換を行いました。

テーマと出された意見の要約

三島町の子育て／教育環境で良いと思うところ
少人数ならではの手厚い指導体制や、「先生の目が一人ひとりに届く」「地域全体で子どもを見守ってくれる」といった、三島町特有の温かい人間関係や安心感
三島町の子育て／教育環境で不安・心配なところ
同級生が少ないことによる「集団スポーツなどの経験不足」や、「人間関係が固定化し、将来広い社会に出た時につまずかないか」といった、小規模校ならではの不安や課題
育つ子どもたちにどのように成長してほしいか
優しい環境で守られて育つからこそ、社会の荒波を「生き抜く力」や「打たれ強さ」を身につけてほしいという強い願いのほか、「思いやりの心」「ふるさとを愛する心」を持ってほしい
自分たちにできること
<ul style="list-style-type: none"> ・課題を「自分ごと」として捉え、「映画館がないなら集まって上映会をしよう」 ・「町外で活躍する先輩の話聞く会を開こう」 ・「地域の有志が学校の体育に参加して人数を補おう」など、地域と保護者が主体となって子どもたちの体験機会の創出



今後の取組について

今回皆様からお寄せいただいた貴重なご意見をもとに、今後の教育環境のあり方や、次回のミーティング開催につきまして、定例教育委員会等で協議してまいります。

なお、当日のグループワークで出された「すべての意見」につきましては、町ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

町 HP : <https://www.town.mishima.fukushima.jp/soshiki/shougai-gakushuu/7182.html>



アカデミー終了生に修了証書 ～生活工芸アカデミー閉校式～



3月19日、令和7年度三島町生活工芸館でアカデミーの閉校式が行われました。

式では、課程を修了した3名に町長から修了証書が授与されました。アカデミー生は、地域の方々とともに農作業体験や材料採取に取り組みながら、編み組の技術を学んできました。これらの経験は、技術だけでなく、自然と共に暮らす知恵や地域とのつながりを学ぶ機会となりました。

町長は「これまでの努力と経験を力に、この地で学んだ技術と精神を大切に、今後の活躍につなげてほしい」とエールを送りました。

修了した3名は4月から町で生活しながら技術を磨き、今後も編み組文化の継承と発展への寄与が期待されています。



▲左より、田澤陽子さん、丸山音羽さん、堺三枝さん

野生動物との共存・里山地域づくり実践報告会

3月20日、三島町交流センター山びこにおいて、「野生動物と共存・里山地域づくり実践報告会」が開催されました。

はじめに、町の地域おこし協力隊で鳥獣対策専門員の鈴木亮さんが登壇し、三島町に移住した経緯や3年間の活動を通して得られた成果と課題について報告しました。対策にあたる人材の減少や、野生動物と人の距離が近づき、適切な対応が十分に行われていない点が挙げられました。今後は、野生動物に「巣をさせない・食べさせない」環境づくりや、正しい知識を学ぶ機会の創出、捕獲従事者の確保などに取り組む必要性が示されました。なお、鈴木さんは任期終了後も町に残り、鳥獣被害対策に尽力される予定です。

続いて、福島大学食農学類の望月翔太准教授から、「2025年度のクマ問題と今後に向けた里山・生態系管理の課題」をテーマとした報告があり、人のクマ慣れが進んでいることから注意が必要であるとの助言がありました。

最後に、福島大学食農学類の林薫平准教授を進行役としたパネルディスカッションが行われ、鈴木亮さん、望月翔太准教授のほか、「まかないや」店主の小松今日子さんや桐の里産業（株）の佐藤恭子さんの4名の登壇者からは野生動物対策の難しさについて率直な意見が寄せられました。実践事例や地域の課題も共有され、会場では活発な意見交換が行われました。

本報告会を通して、参加者は三島町だけでなく福島県内各地における野生動物問題を共有し、その対策への理解を深めました。今後の取り組みへの活用が期待されます。



▲【1部】三島町鳥獣対策専門員 鈴木 亮さんによる報告



▲【2部】福島大学食農学類 望月 翔太准教授による報告



▲【3部】パネルディスカッション

伝統工芸士 新たに2名認定

このたび、経済産業大臣指定伝統的工芸品である奥会津編み組細工において、新たに渡部ユキ子さんと角田ツヤ子さんの2名が伝統工芸士に認定されました。長年にわたり技術の研鑽を重ねてこられたことが高く評価されたものです。

奥会津編み組細工は、山で採れる自然素材を用い、手作業で丁寧に編み上げる工芸品で、実用性と美しさ、丈夫さを兼ね備え、地域の暮らしと深く結びついてきました。

伝統工芸士は、伝統工芸品産業振興会が実施する認定試験に合格した者に与えられるもので、今回お二人は「ヒロロ」部門の試験に合格されました。

現在、三島町では7名の伝統工芸士が活動しており、今回の認定により9名となります。今後は、伝統工芸技術の継承や後継者の育成など、さらなる活躍が期待されます。



▲左から渡部ユキ子さんと角田ツヤ子さん

荒屋敷遺跡・小和瀬遺跡の出土品が展示！

「ふくしまの縄文・弥生時代—只見川流域の遺跡—」見学会

3月7日、公民館事業として、白河市にある福島県文化財センター白河館「まほろん」で開催中の企画展「ふくしまの縄文・弥生時代—只見川流域の遺跡—」の見学会を実施し、26名の町民が参加しました。

館内では、学芸員の解説のもと、三島町の荒屋敷や小和瀬遺跡を中心に、只見川流域における縄文時代（晩期）から弥生時代の遺跡や出土品について詳しく学びました。

中でも、約1000年前に出土したほぼ完形の小和瀬遺跡の土偶（個人蔵・東京国立博物館寄託）は、あらゆる角度から観察できるよう展示されており、多くの参加者が足を止め、熱心に見入っていました。

見学後は常設展の解説も行われ、只見川流域にとどまらず、福島県全体の縄文時代から近代に至るまでの歴史や人々の暮らしについて理解を深める機会となりました。



子どもたちの「困り感」に寄り添う支援を学ぶ

～三島町特別支援教育に係る研修会～

3月16日、三島町町民センター大ホールで「三島町特別支援教育研修会」を開催し、保育所・小中学校の教職員約20名が参加しました。

講師に本町出身の会津大学短期大学部幼児教育・福祉学科准教授の五十嵐一徳氏を迎え、「特別な教育的支援を必要とする児童・生徒の理解」をテーマに講演いただきました。

前半は、子どもの特別な支援を必要とする子どもたちの「困り感」に寄り添い、特性に応じた指導の工夫や環境づくりといった具体的な手立てを学びました。

後半は、ケース会議を基に、小学校から中学校への支援の引き継ぎについて協議・研修を行いました。

三島町が目指す「小・中9年間を見据えた一貫した支援」に向け、教職員の共通理解を深める有意義な研修会となりました。



▲講師の五十嵐一徳准教授

【宮下】合同法要・春彼岸供養・涅槃会が行われる（3月19日）

小島 純さん

3月19日、宮昌寺において、午前9時から合同法要、春彼岸先祖供養、涅槃会が行われました。

今年は彼岸供養と合わせて涅槃会（団子まき）が実施されました。これに先立ち17日には、活性化センターにおいて、宮昌寺護持会会員の多くの方々が団子づくりを行いました。

団子まきでは、地区の方々や三島保育所の園児たちも集まり、住職さんを始め、寺社総代の方々がまく団子を一生懸命拾っていました。



【西方】春を呼び込む団子まき（3月20日）

本名 与四郎さん

3月20日の春分の日午前11時より西隆寺本堂において、春恒例の「団子まき」が昨年同様に行われました。団子まきが始まる前に遠藤孝弘住職が団子まきの由来について分かりやすく説明をしました。その後、本堂には、地元の子どもたちやお年寄りだけでなく、近郷近在の多くの方々が約100名近く集まり、熱気にあふれました。

団子まきは、遠藤住職や護持会の役員が信徒や住民たちに5色の団子のほか御利益のある鈴のお守りをまいて、無病息災、交通安全など祈願しました。

なお、3月18日の午前9時から、地区の婦人会を中心にお寺の庫裏に集まり、今月14日に托鉢で集めたお米を蒸かして、手際よく5色の色粉と練り合わせながら、たくさんのお団子を丸めたと言うことでした。地域に残る稀少な行事の一つであり、未永く守り続けてほしいと願うばかりです。



「幸せと 春よ来いと 団子まき」「春拾う 寺の本堂 団子まき 雪解け間近 五色花咲く」

【宮下】令和8年度地区総会が行われる（3月21日）

小島 純さん

3月21日、宮下活性化センターにおいて、令和8年度宮下地区総会が、午後3時より行われました。

近藤勇彦区長が宮下地区の1年を振り返りながらあいさつをした後、来賓祝辞をいただき、議長が選出され、議事に入りました。

上程された令和7年度の事業報告や歳入歳出決算書など、6つの議題が慎重に審議され、了承をいただきました。

令和8年度の区長については、推薦された近藤勇彦氏が全員一致で承認され、再任となりました。

総会終了後は懇親会が行われ、集まった地区の方々には昨年を振り返るとともに、次年度も明るい宮下地区になることを期待し、和やかに歓談しました。



【間方】間方っ原かんじきトレッキング行われる（2月22日）

菅家 壽一さん

2月22日、かしゃ猫クラブ主催による、「間方っ原かんじきトレッキング」が行われました。昨年の今頃は、雪が多くて（積雪210cm）中止になりましたが、今年は、丁度いい積雪量（積雪95cm）です。

遠くは神奈川県、埼玉県、新潟県から、町内外の参加者20名とスタッフ11名が参加しました。

バス停から入間方までの間、クロモジ、ウツギとヌルデ、五葉松、ミズキ（団子さしの木）等の植物と間方の暮らしの話をしながらかじき、クリの木の熊棚も見つけました。

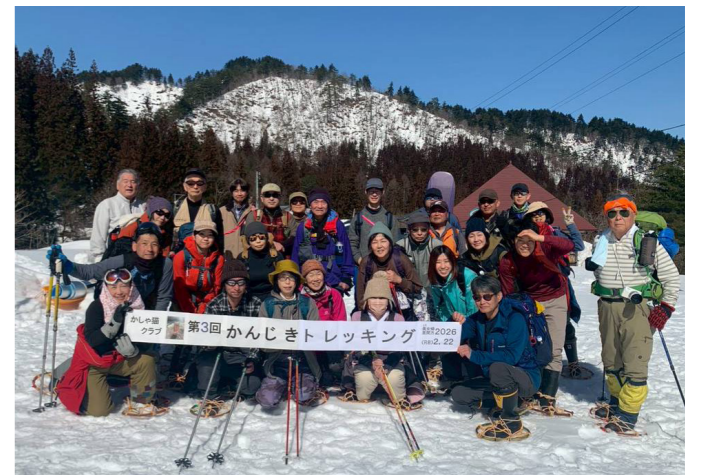
入間方からはかんじきを履き、集合写真撮影、安全祈願をし、お神酒を頂いてから出発です。ゆっくりと歩きました。

天気も良く、何かに似ているクルミの葉痕を見たり、カモシカなど森の動物の足跡も見つかったり、ゲスゾリ遊びをしました。参加者は童心に帰り、キャーキャー言いながら楽しみました。

別れ口では、餅入りキノコ汁、干こごみ炒りでお昼です。いつも大好評の峠の茶屋では、美味しいコーヒーが振る舞われ、かしゃ猫伝説の紙芝居も披露しました。

役場前では、抽選会を行い、再会を約束して解散しました。

後日、参加者からの感想メールを多数いただきました。



かしゃ猫クラブは、間方の宝である、美女峠と大辺峠及びその周辺の森林空間の活用を図り、間方地区の活性化に寄与するとともに、町全体の自然活用の波及活動に賛同する者により構成しています。

【高清水】高清水地区文化継承事業「ひな流し」（3月4日）

菅家 敏一さん

3月4日午後2時ころから、いろいろな思いを込めて各家庭で作られ、3月3日まで飾られていた「おひなさま」を川に流す「ひな流し」が行われました。

三島小の矢澤源真さんが、地区をまわり、各家の「おひなさま」と三島小の1,2年生の皆さんが作成した「おひなさま」計85体を集めました。

当日は雨でしたが、流し始めると雨も上がり、「おひなさま」を入れた木箱が、川の流れに乗って流れて行くのを確かめると、誰もがほっとしていました。

この行事が終わると、春ももうすぐと、地区の皆様は心待ちにしています。



三島町地域おこし協力隊活動報告②



しげた りゆうき
茂田 龍揮 (38)

【配属先】 地域政策課

【業 務】 ① 地域循環業務
② 観光業務



三島町地域おこし協力隊活動報告①



すずき りょう
鈴木 亮 (45)

【配属先】 産業建設課

【業 務】 鳥獣対策専門員（有害鳥獣の捕獲・
鳥獣出没現場の確認や調査・鳥獣
が人里に寄りつかない環境づくり）



活動内容

主に鳥獣からの被害を防ぐ活動を
実施

- ① 有害鳥獣の生態調査と出没情報の管理、分析
- ② 有害鳥獣が人里に来ないための環境づくり
- ③ 有害鳥獣の目撃が多い時間、場所での警戒と追い払い
- ④ 有害鳥獣の捕獲

【令和7年度の活動】

今年度はクマの出没が多かったほか、人家付近でのサル出没が常態化したため、これらの対応が主な仕事となりました。

- ① 出没現場の確認
- ② 放任果樹の伐採などによる環境整備
- ③ 現場の確認の結果、人に危害が及ぶおそれが高いと判断した場合、罠を設置しての捕獲を実施
- ④ クマやサルが出没する時間、場所での見回りと追い払い
- ⑤ 町の方に向けた講習会や、広報誌などを利用した被害防止の呼びかけ

三島町での生活

仕事以外でも狩猟に動かし、令和7年度はわな猫で10数頭のイノシシを捕獲することができました。狩猟は動物との駆け引きが面白く、今ではすっかりのめり込んでいます。ほかには、町の方から分けってもらった野菜で趣味の料理を楽しみました。野菜を分けてくださった方々、おいしい野菜をありがとうございます。



次年度(卒隊後)の活動予定

次年度も今まで同様、町が動物にとつて安全なエサ場になるのを防ぐべく、放任果樹の伐採などの「エサをなくす対策」と、追い払いや捕獲などの「町を危険な場所と認識させる対策」を並行して行っていきます。また、動物たちの行動は常に変化しているため、生態調査や町の方からの情報収集はこれまで以上に重要になると感じています。集めた情報は町の方と共有し新たな対策につなげていきますので今後もご協力をお願いいたします。



活動内容

「地域循環」「観光」「ふるさと納税」の3つに携わっています。これらは別々の業務ではなく、「地域の資源を活かした町の魅力の発信と、持続可能な地域づくり」を実現するために互いに支え合っています。協力隊1年目の今年度は、業務の関連性を含めて全体像を把握することに注力してきました。

【地域循環】

- ① ごみの削減を呼び掛ける記事を広報誌に連載
- ② ゼロカーボンビジョンと光害の啓蒙活動
- ③ 子供向けの環境教育のイベントを夏休みに開催

【観光】

- ① 「星空案内人」の講習会に参加し、資格を取得
- ② 美坂高原のイベントで星に関するワークショップの補助

【ふるさと納税】

- ① 事務作業の手順の見直し
- ② 寄附額を増やすための取組

三島町での生活

都会にはない美味しい水と澄んだ空気、光害の影響が少ない環境で見られる美しい夜空に包まれて生活しています。

「田舎は車がないと生活できない」とよく言われますが、車がなくても生き延びることができたのは、ひとえに地域の皆様が支えてくれたお陰です。確かに車があれば便利だと思ふことは多々ありますが、歩いたり走ったり自転車に乗ることで見えない景色があるので、もうしばらく今の生活を楽しまたいと思っています。



次年度の課題

これからの2年間は、協力隊1年目に立てた目標を実現していく時間になります。地域循環の目標は、昨年度に実現できなかった地域循環共生圏推進協議会の運営と、ゼロカーボンビジョンの実現に向けた取組への着手です。

観光業務は、美坂高原の星空保護区への認定に向けて、星空案内人としてのスキルアップと星空ツーリズムの調査を行います。

ふるさと納税は、寄附額の増加を目指した施策の効果を検証していくと同時に、属人化を防ぐオペレーションの確立を目標とします。

また、引き続き地域での様々な活動にも参加していきます。三島町の豊かな風土と皆様の知恵を大切に、これからも一歩ずつ精進してまいりますので、今後とも変わらぬご厚情とご教示を賜りますようお願い申し上げます。



ご利用ください！生活工芸館—設備について—

生活工芸館では、町民の皆さんのものづくりをお手伝いできるよう、さまざまな設備を備えています。利用の際は事前にご予約のうえ、ご来館ください。



【木工室】

お箸のような小物から棚などの大きなものまで、製作可能なプロ仕様の機械が揃っています。利用料金は機械使用の時間に応じて、町民は半日（3時間以内）300円、1日500円です。

組み立てなど機械を使わない場合は、料金がかかりませんので、作業場としてもお使いいただけます。



【陶芸室】

陶芸窯、ろくろ（手回し、電動）、土練機、その他土を削る為のヘラ等の道具を置いており、成形から本焼きまでの一連の作業ができます。1日300円で機械類をご利用いただけます。

なお、電動の機械の利用が無ければ、料金はかかりません。



【工人の館】

制作活動を行える施設です。工芸制作活動に利用する目的として部屋や備え付けの道具を貸し出しします。町民または特別町民の方が利用できます。

利用料は無料です。開館日時は、生活工芸館と同様です。

内容	料金	設備等
木工室 機械利用料	【町民または特別町民】 ●半日（3時間以内）300円 ●1日500円 【町外】 ●半日（3時間以内）600円 ●1日1000円	インパクトドライバー、ジグソー、横切り盤、手押し鉋盤、自動鉋盤、昇降盤、超仕上げ鉋、糸鋸、角ノミ等
陶芸室 陶芸機器利用料（ガス代別途）	【町民または特別町民】 ●1日300円 【町外】 ●1日600円	手回しろくろ、電動ろくろ、土練機、陶芸ガス窯（小）、陶芸ガス窯（大）、各種ヘラ等
陶土	1kg 200円	
ガス代	1㎡当たり 944円	陶芸ガス窯（小）において 素焼き：2㎡ 本焼き：5㎡程度必要
工人の館 各部屋	無料 (指導にあたっては料金が発生する場合があります)	シンク（長い材がつけられる）、ミシン、アイロン、なめしローラー、エアコン、Wi-Fi

☎ 三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502

工芸館だより 57 〽ものづくりの伝承〽



花粉症を予防しよう！

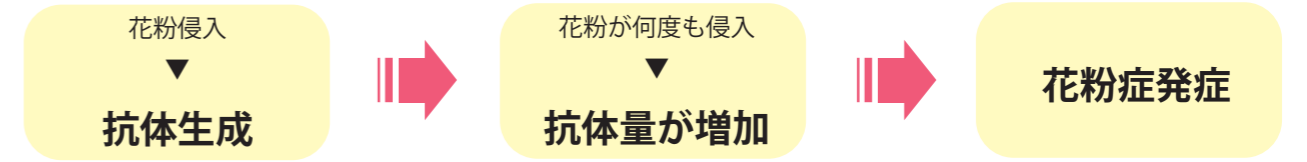


vol.109

健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

花粉症は花粉が鼻や目に何度も侵入し抗体量が増えると、くしゃみや鼻水、目のかゆみといったアレルギー症状が出るようになります。まだ花粉症になっていない方も、花粉をできるだけ避ける（暴露を防ぐ）ことで将来の発症を遅らせることができます。



どうすれば花粉症を予防できるの？

- 花粉を避ける
 - 顔にフィットするマスク、眼鏡を装着しましょう
 - 花粉飛散の多い時間帯（昼前後と夕方）の外出を避けましょう
 - 外出を避けるため、テレワークの活用も検討しましょう
- 花粉を室内に持ち込まない
 - 花粉が付きにくく露出の少ない服装を心がけましょう
×ウール：付着しやすい ○綿や化繊：付着しにくい
 - 手洗い、うがい、洗顔、洗髪で花粉を落としましょう
 - 換気方法を工夫しましょう
 - ・窓を開ける幅を狭くし、レースカーテンをすることで屋内への花粉流入を減らす
 - ・床掃除やカーテンの洗濯を定期的に
 - 洗濯物や布団の外干しを控えましょう



花粉症の受診のタイミングは？

毎年花粉症の症状が出る方は、本格的な花粉飛散開始の1週間前までには受診しましょう。これまで花粉症と診断されていない方も、くしゃみ等の花粉症と思われる症状が出た方は早めに医療機関で診断を受けましょう。

図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

※本の貸出し期間は2週間です。
次に利用される方のためにも、返却期限をお守りください。

☎ 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ



神様の定食屋

中村 颯希 著

両親を失った青年が定食屋を継ぎ、神様の力で憑依した魂たちから料理を学びながら、その魂たちの未練を解消していくという独特な設定で、読者の心を深く揺さぶる物語となっています。

●図書の紹介

101歳ひとり暮らしの心得

吉沢 久子 著



ほんとうの贅沢

吉沢 久子 著



変な地図

雨穴 著



運命の巻戻士⑪

木村 風太 著





国環研だより 第92回 地球温暖化と桜の開花日

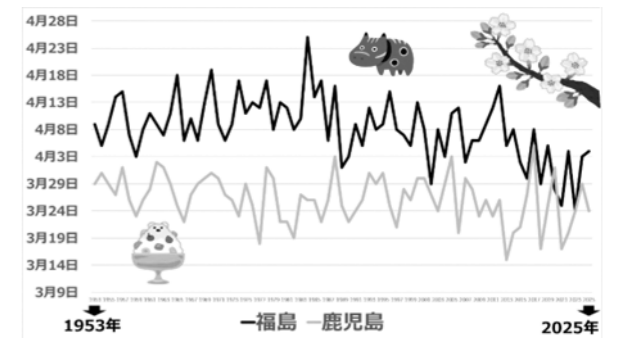
三島町のみなさま、こんにちは。今回は、地球温暖化が身近な環境に与える影響の例として、桜（ソメイヨシノ）の開花との関係についてご紹介します。私たち福島拠点が位置する三春町には日本三大桜にも数えられる三春滝桜がありまして、開花すると普段は空いている朝の磐越東線がお花見の皆さんで大混雑になります。滝桜の満開は例年4月10日前後なのですが、近年は早まる年が出てきて、例えば2023年は4月1日には満開となり、滝桜用に観光協会が三春駅から毎年運行するバスの用意が間に合わなかったこともありました。

桜は秋の終わり頃から休眠に入り、真冬に一定期間厳しい寒さ（3～10度）を経験することで低温刺激を受けて目覚め（休眠打破といいます）、その後は温度が上昇するにつれて成長し、日最高気温の積算が一定の値に達すると開花します（一定の値としては600度の法則や400度の法則が知られています）。このため、休眠打破後の温度が暖かいほど早く開花することになります。

参考サイトの①によると、九州大学名誉教授の伊藤久徳氏がコンピュータを使って2100年までの桜の開花の様子を計算した結果、2100年の桜の開花予想日は東北地方では2～3週間早まるのに対して、九州などの温暖な場所では逆に1～2週間遅くなることが分かったそうです。暖かくなると開花が早まるというのは分かりやすいと思いますが、なぜ温暖な地域では逆に遅くなるかという、休眠打破に必要な寒さが十分に確保できなくなるからだと思います。

下図は福島と鹿児島県の桜の開花日が1953年から2025年の間にどのように変化したのかを整理したのになりますが、近年はその差が徐々に縮まり、2020年には史上初めて鹿児島より先に福島で開花し、2023年にも同じ日に開花するなど、地球温暖化の影響が目に見える形となりました。

最近、季節が春夏秋冬の四季から夏冬のみの二季に変わりつつあるとも言われていますが、今回ご紹介した桜などの身近な環境の変化からも地球温暖化について考えるきっかけにいただければと思います。



図：福島と鹿児島県の桜開花日の変化（1953年～2025年）参考③をもとに筆者作成

【参考サイト】

- ① 環境省：地球温暖化で桜の開花に異変!? 日本列島でいつせい開花も？
<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/weather/article06.html>
- ② Find! 三春：【三春滝桜】樹齢推定1000年超、日本三大桜に数えられ天然記念物に指定された名木
<https://miharukoma.com/experience/183>
- ③ 気象庁：気候変動ポータル（生物季節観測の情報）<https://www.data.jma.go.jp/sakura/data/index.html>



筆者 **中村 しょうご** **省吾**

国立環境研究所福島地域協働研究拠点
地域環境創生研究室 ☎0247 (61) 6572

町史編さん室だより

第123回

明治期、町村制施行後の村役場の変遷

明治22年（1889）、福島県では町村制が施行されて今の自治体に近いものとなり、現三島町域では西川村（宮下・桑原・大登・川井）、原谷村（松原・滝谷）、三谷村（大谷・浅岐・間方）、川西村（西方・大石田・名入・早戸）が誕生、西川村・原谷村・三谷村は西川村外二ヶ村組合（後の宮下村）として、一部事務を共同で処理するようになりました。その組合役場について、宮下小学校『郷土誌』には、

明治二十二年四月一日町村制実施二当り村役場ヲ大字宮下三百三十七番地ニ設ケタリシガ火災ノ為ニ明治三十三年六月二十一日大字宮下一千二百二十番地へ移転シ其後明治三十四年九月七日大字大登五百二十一番地ニ移リ又モヤ明治三十六年二月十日大字宮下宮昌寺一千五百五十五番地ニ移シ明治四十四年六月二十一日大字宮下三百三十七番地ニ庁舎落成後コレニ移転ス

つまり、明治22年（1889）に役場が設けられた場所に、火災等による幾度かの移転を経て、明治44年（1911）に再び戻ってきたと書かれています。町には明治44年3月に開会した、西川村外二ヶ村組合村会（現在の議会の『議事録』が遺されており、村会における諮問第一号として「当組合村役場ヲ西川村大字宮下字宮下三百五十番二変更セントス」と、組合村役場を現在の三島町役場と同じ住所にするよう諮っています。

『郷土誌』の記述とこの諮問から、以前とほぼ同様の位置に建てられた庁舎の地番を三百三十七番地から三百五十番地に変更した、もしくは『郷土誌』にある三百三十七番地が三百五十番地の誤記であると考えられます。

川西村（後の西方村）の役場の位置については、西方小学校『郷土誌』に記載があり、明治22年の村制実施にあたり、西方字居平八十一番地の栗城嶺次方に設けた後、30年（1897）に西隆寺に移転、31年に西方字居平八十七番地に新築移転したとあります。

（町史編さん室）



▲明治44年(1911) 西川村外二ヶ村組合庁舎、開庁祝いの記念写真(川井・角田伊一氏提供)

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。

☎(52)2165

宮下病院からのお知らせ

高齢者の不眠対策

宮下病院 内科 小野正博

高齢になると夜間の睡眠時間は短くなり、早寝早起きの傾向になります。必要以上に長く床で過ごす、かえって不健康になると言われています。目安として65歳の平均睡眠時間は6時間くらいです。日中は活動的に過ごし、昼寝は30分までにしましょう。午後3時以降はお茶やコーヒーなどカフェインの入っている飲み物を飲まないようにしましょう。生活習慣を見直しても改善しないときは、医療機関へ相談を検討してください。

☎福島県立宮下病院 ☎(52) 2321

町からお知らせ

4月分納税のご案内

【納期限 4月30日(木)】

- ▼固定資産税(第1期)
 - ▼軽自動車税(第1期)
- 忘れずに納付ください。

☎町民課 町民係 ☎(48) 5555

ご寄附ありがとうございました

ふるさと納税(2月分)

寄附件数4件 計59,000円

お悔み申し上げます

- 二瓶 宗一郎 様(99才・西 方)
- 菅 家政 義 様(82才・荒屋敷)
- 小 平 ヤイ子 様(82才・西 方)

町の人口と世帯(3月1日現在)

人口	1,279	増減数	-2	出生	0
男	647		-1	死亡	2
女	632		-1	転入	1
世帯	659		-2	転出	1

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

桜原はつらつクラブ 4月7日(火) 社会見学 間方いきいきクラブ 4月10日(金) 午前10時から 間方集会所 川井友愛サロン 4月13日(月) 午前10時から 川井集会所 大登サロン 4月14日(火) 午後1時30分から 大登生活改善センター	高清水・小山 いきいきサロン 4月16日(木) 午前10時から 高清水集会所 ひまわりサロン 4月20日(月) 午前10時から 町民センター サロンないり 4月27日(月) 午前10時から 名入集会所 滝谷和楽塾 4月28日(火) 午前10時から 滝谷集会所
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

- 二 瓶 辰 雄 様(西 方)
- 菅 家 利 勝 様(荒屋敷)
- 小 平 誠 様(西 方)

☎社会福祉協議会 ☎(52) 3344

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ三島通信で健康教室を放送中です。

4月「転倒後に注意が必要な病気」です。

ぜひご覧ください。



☎福島県立宮下病院 ☎(52) 2321

会津坂下警察署からのお知らせ

子どもたちの変化に注意しましょう!

進学・進級の時期は子どもたちの生活や交友関係に変化が訪れる時期です。

自分の子どもと積極的に関わり、変化を見逃さないようにしましょう!

- ・スマートフォンに夢中になり、昼夜を問わず操作している。
- ・友達付き合いが変化し、夜中まで外出して帰ってこない。
- ・服装や髪型が急に派手になったり、見覚えのない高級品を持ち歩いている。

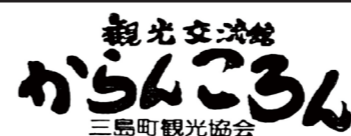
スマホの使い方は大丈夫ですか?

スマートフォンは便利な半面、使い方を誤ると、危険な目に遭う可能性もあります。

子どものスマートフォンの使用方法に注意してください。

- ・SNSに悪口などを書き込む。
- ・SNSで知り合った人に裸の写真を送る。
- ・SNSで知り合った見知らぬ人と会う。

☎会津坂下警察署警務係 ☎0242 (83) 3451



第181号

観光交流館からんころんより営業に関するご案内
 新年度より、観光交流館からんころんの営業時間に変更となります。
 また、からんころん便りにつきまして、経費削減のため広報しまの枠をお借りして継続させていただくこととなりました。
 今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

観光交流館からんころんの営業時間
 [変更前]9:00~18:00 ⇒[変更後]8:30~17:30
レンタサイクルはじまります
 [期間]4月上旬~11月末
 [料金]4時間まで500円 / 1日(4時間以上)1,000円
 [貸出時間]8:30~17:30

観光交流館からんころんより営業に関するご案内

営業日	出店者	メニュー
11・12日(㊤・㊦)		並盛 700円(税込)
25・26日(㊤・㊦)	みやしたそばの会	大盛 1,000円(税込)
時間 11:00~14:00	宮下荒屋敷地区有志の皆さん	特盛り 1,200円(税込)
※売切れ次第終了		特々盛り 1,500円(税込)

からんころんイベント広場のキッチンカー営業(不定期)はじまります。ぜひご利用ください

消防署からのお知らせ

山火事に注意しましょう!

令和8年 全国山火事予防統一標語
 「山火事を 起こすも防ぐも 私たち」

空気が乾燥し、
 強風が吹く気象現象が発生します!!

山火事は一旦発生すると、その消火は容易ではなく一瞬にして貴重な森林を焼失するとともにその回復には長い年月と多くの労力を要します。

- ◆山火事や事故を防ぐために、次のことに注意しましょう!
- ・たばこのポイ捨てはせず、決められた場所で喫煙する!
- ・火気を使用せざるを得ない場合は、消火用の水等を必ず用意!
- ・強風時や乾燥時にも、たき火・火入れをしない!

☎会津坂下消防署 三島出張所
 ☎(52) 3032 / FAX (52) 3033

[三島町観光協会・観光交流館からんころん]
 営業時間 8:30~17:30 定休日/月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
 〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 214-5
 ☎0241(48)5000 FAX:0241(42)7072 メール:mishima@oboe.ocn.ne.jp

JR只見線「春 & ふくしまDC」特別列車運行

風っこ只見線満喫号(風っこ2両/全車指定席)
 [期間] 4/18・19、25・26、5/2~6、9・10、16・17、24
 [時刻] 会津宮下駅 下り10:41 上り14:31

春の恵み!新緑只見線(会津若松⇄会津中川)
 [運行日] 5/23(土) ※日帰り

只見線沿線の美しい旅(会津若松⇄只見)
 [運行日] 5/28(木) ※日帰り

三島町・奥会津関連の行事・イベント情報

- 4/1~6/30 ふくしまデスティネーションキャンペーン/福島県
- 4/4 只見線マラソン/JR只見駅~JR会津若松駅入所式/三島保育所
- 4/6 入学式/三島小学校・三島中学校
- 4/18・19 カタクリさくらまつり/大林ふるさとの山
- 5/2・3 手づくりマルシェKISSE/工人の館
- 5/5 鬼子母神例大祭/西隆寺
- 5/16 桐の里ウォーク/三島町内

～只見線にみんなで手を振ろう!～

5月16日(土)

8:55 スタート!

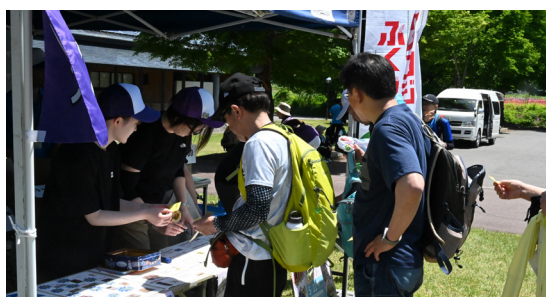
桐の里ウォーク

参加者大募集!

完歩証 記念バッジ がもらえる



お楽しみ抽選会もあります!



◆定員 400名(先着順、定員になり次第締切)

◆参加資格 コースを完歩できる健康な方

※ 小学3年生以下は保護者同伴

◆参加料 大人 町民 800円

町外 1,000円

子ども(中学生以下) 町民 400円

町外 500円

◆申込期限 令和8年5月1日(金) 17:00まで

◆申込方法 申込QRコード

フォームにて受付

※フォームを利用できない場合は、

電話受付も可能

【記載事項】参加者全員の氏名、住所、

年齢、電話番号、交通手段、他



◆問合せ先 三島町教育委員会 ☎ 0241 (48) 5599

【主催】三島町/三島町教育委員会

【共催】三島町公民館/三島町スポーツ協会/三島町スポーツ推進委員会/桐の里歩いてみっ会

町長スケジュール

4-5月

月日	曜日	予定公務
4/1	水	町役場職員辞令交付式
2	木	町教職員着任式
3	金	議会全員協議会
4	土	三島保育所入所式
5	日	消防団幹部会
6	月	区長懇談 三島小・中学校入学式
7	火	区長懇談 福島県会津若松建設事務所長就任挨拶
8	水	区長懇談
9	木	区長懇談
10	金	区長懇談 新旧区長会
20	月	福島政経懇話会
21	火	会津総合開発協議会地方部会総会 会津総合開発協議会本会総会
5/1	金	県中・県南・会津地区国道協議会
8	金	議会全員協議会
12	火	広域圏管理者会

